

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DK154／ジャーナリズム論 (Journalism Study)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	デジタル情報化時代のジャーナリズム		
担当者名 (Instructor)	橋本 晃(HASHIMOTO AKIRA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOX2310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

ジャーナリズム活動を担ってきた新聞の産業的危機が進行しているが、ジャーナリズムはネットの場に生きられる場を見いだせれば紙を舞台にせずともよい。媒体がどのようになるかにかかわらず、イズム＝理念の体系と日々の日誌制作活動としてのジャーナリズムは社会の存続、発展におそらく必要なものである。むしろ、ネット社会が抱える諸問題のほうがすでに 100 年前のアメリカで出尽くしている。本授業では媒体＝メディアのいかに関わらず重要なジャーナリズムをその思想的側面から検討する。

The industrial crisis of newspapers, which have played a major role in journalism activities, is progressing, but journalism does not have to be set on paper if it finds a place to live on the Internet. Regardless of what the media will be, journalism as philosophy and a daily diary production activity is probably necessary for the survival and development of society. Rather, the problems of the Internet society have already been found in the United States 100 years ago. In this course, journalism will be examined from the aspect of the history of ideas.

#### 授業の内容(Course Contents)

ジャーナリズムとメディアの違い、デジタル情報化時代のジャーナリズムの現在について概説したのち、いまジャーナリズム活動を主に担っているメディアを概観、さらにジャーナリズムと密接な関係で発展してきた民主政、自由との関係を辿り、ついで中立、プレスの独立、客観報道などの主要なジャーナリズム理念の生成過程とそれらが孕む問題点を検討、メディア・ジャーナリズムをめぐる実践と研究についても概観する。

This course gives an overview of the difference between journalism and mass media, and journalism in the digital era. Then, it provides a general account of mass media which play roles in journalistic practice. It also examines democracy which has developed in a close relationship with journalism. Major journalistic ideas including neutrality, freedom of the press, objectivity will also be examined. Finally, it provides an overview of journalistic practices and research on mass media.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション デジタル情報化時代のメディアとジャーナリズム
2. ジャーナリズムのいま 新聞、テレビ、インターネット
3. ジャーナリズムと民主政、自由① 市民、小さな政府、言論・プレスの自由、新聞
4. ジャーナリズムと民主政、自由② 大衆、大きな政府、積極的自由、大衆新聞、テレビ
5. ジャーナリズム諸理念① 中立
6. ジャーナリズム諸理念② プレスの独立、公共奉仕、権力の監視
7. ジャーナリズム諸理念③ 客観報道
8. 社会的構築物としてのニュース① ニュースの生産過程、ニュースバリュー
9. 社会的構築物としてのニュース② メディアフレーム
10. メディア・ジャーナリズム研究の実践と研究① マス・コミュニケーション研究、メディア研究
11. メディア・ジャーナリズム研究の実践と研究② ジャーナリズム教育
12. グローバル化とジャーナリズム
13. 戦争と平和のジャーナリズム
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

パワーポイント資料は講義前に立教時間にアップするので、それを読んだ上で授業に臨むこと。また、現実のジャーナリズム活動を知らずして講義だけ聞いても理解できないので、新聞を【必ず】毎日読むこと。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%)/出席確認を兼ねた授業内レポート(30%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 大井眞二、田村紀雄、鈴木雄雅、2018、『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために 第2版』、世界思想社 (ISBN:9784790717157)

参考文献 (Readings)

1. 橋本晃、2006、『国際紛争のメディア学』、青弓社 (ISBN:978-4-7872-3257-1)

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

注意事項 (Notice)